

# 平成 26 年度 自己評価書

学校名 和歌山市立有功小学校

校長名 小林 達史

作成日 平成 27 年 2 月 20 日

学校教育目標 健康で豊かな人間性をそなえ、楽しく取り組める子ども

・育てたい子ども像

生命を大切にする子

仲良く力をあわせる子

進んで勉強する子

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	食に関する教育の推進
<p>本年度の重点目標 P</p>	<p>地域・家庭・学校が連携を深め、自治会や関係諸団体との協力をしやすい体制を築いていく。 保護者や地域の方が学校に親しみを感じ、学習活動や学校行事に参加しやすい学校づくりをめざす。</p>	<p>児童理解をより一層心掛け、コミュニケーションを豊かにし、よりよい人間関係作りをめざす。 子どもに寄り添った指導をめざす。 「食と健康」の取組や道徳教育等を通して、豊かな心を培い、「仲良く力をあわせる子」「生命を大切にする子」の育成をめざす。</p>	<p>課題解決学習を中心に、児童が楽しくわかる授業を推進していくために、授業の改善に努める。 自ら進んで学習する子の育成をめざす。 特別支援教育を充実させ、ひとり一人にあった学習方法をめざす。 「うちどく」の推進を図る。</p>	<p>自らの望ましい食生活について考え、健康的な生活を実践できる子どもの育成をめざす。 今年度は、2年間の研究の成果を発表していく。その成果を広く広報していくようにする。</p>
<p>取り組みの状況 D</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりの発行。</li> <li>・HPの内容や、学年、学級通信を充実させる。</li> <li>・ゲストティーチャーとして、地域の方や保護者の学校行事等への参加を促す。</li> <li>・学校安全について、地域との連携を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝校門指導を行い、安全指導や挨拶をしていく。</li> <li>・職員相互の児童の把握。</li> <li>・「食と健康」の研究を通しての「ゆたかな心」の育成に取り組む。</li> <li>・心の取り組みに、関係諸機関との連携強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食」に関する学習をより深めていく。</li> <li>・学力の現状分析を基に、基礎学力、授業改善に努める。</li> <li>・特別支援教育の体制、個別支援活動を充実させ、個に応じた教育に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研究を子どもの課題解決学習や健康面の取り組みを充実させる。</li> <li>・食育に関して地域や関連機関との連携を強化する。</li> <li>・保護者への啓発。</li> <li>・研究の成果をまとめ、今後を生かす。</li> </ul>
<p>取り組みの成果と課題 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けと地域への広報誌は、学校の取り組み、地域との連携に役立った。</li> <li>・HPは、やり方が変わったこと、担当者が変わり不慣れな面が出てしまった。</li> <li>・通学指導にほぼ毎日、育友会や地域の方が協力し、子どもの安全に取り組めた。</li> <li>・授業参観は参加が多いが、懇談や講演会に残る人が少ないのが課題として残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の校門指導での挨拶は定着してきた。地域の方に子どもがよく挨拶するようになったと誉められた。</li> <li>・「食と健康」の取り組みで地域や家庭とのふれあいが増え、豊かな心の育成に繋がった。</li> <li>・スクールカウンセラーの配置により相談活動が保護者も充実した。</li> <li>・道徳教育の充実が大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力分析で、読み取り、問題に沿って書く力の不足がめだった。有功タイムを中心に取り組んでいる。</li> <li>・校内研究授業や外部の講師に来てもらい、研修の充実が図れた。</li> <li>・教師の児童の見取る力に関して、工夫することができた。</li> <li>・特別支援教育が部会をと組織として機能しだした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食関係の取り組みは大変充実していた。</li> <li>・本年度の研究発表は、6年生で行った。</li> <li>・生活習慣や運動習慣に対して、学校全体で取り組んでいるが、成果が出るまで続けたい。</li> <li>・保護者にはかなり協力してもらっているが、啓発活動を今後も継続する。</li> </ul>
<p>改善方法 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育友会との連携を深め、懇談会や教育講演会を工夫し参加を要請していく。</li> <li>・HPは今後も充実させる。</li> <li>・広報誌は今後も続けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も校門指導を行い、挨拶からコミュニケーションの充実を図る。</li> <li>・食と健康の実践、道徳教育の充実を続ける。</li> <li>・個に応じた支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員一人一人の意識を高め授業改善に努める。</li> <li>・学力の二極化に今後も取り組んでいく。</li> <li>・特別支援教育の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度も「食と健康」の取り組みを継続していく。</li> <li>・家庭の食事の改善に向けて保護者に啓発活動をしていく。</li> </ul>

・その他の課題

- ・食育を学校として取り組むとき、給食、家庭教育、授業の充実には避けられない。教員の配置や意識の高まりを図る。
- ・保護者や地域、関係諸機関とより一層の連携を図り、本校の教育内等の理解を得ることに努め、適切に対応したい。